



名取しげはる

Natori Shigeharu

後援会報

しげはる通信 SHIGEHARU NEWSLETTER

平成31年1月発行

第2号

〔発行〕名取しげはる後援会
〔発行責任者〕小池与左衛門

後援会の皆さま あけましておめでとうございます。

それぞれに希望に満ちた新春をお迎えのことと思います。

私も清々しい気持ちで、新しい年に向かって精力的に仕事に取り組むよう決意を新たにしているところです。

さて、昨年を振り返りますと、日本中で大雨や猛暑、地震などの自然災害が多発いたしました。

富士見町でも台風の影響によって、昭和五十七年以来という大きな災害を受けました。土石流の発生現場に足を運び、改めて自然の猛威を身にしみて感じ、防災・減災対策の重要性を再認識いたしました。

これからも町民の皆さまが安心して安全に暮らせる環境整備のため、全力を挙げて取り組む決意です。

町政には、多くの課題が山積しておりますが、私は明るい気持ちで全て前向きな姿勢を持って取り組んで参りたいと強く思っております。後援会の皆さまには引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆さまにとって、今年一年が穏やかで実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

富士見町長 名取 重治

会報2号の発行に寄せて

後援会長
小池 与左衛門



会員の皆さま今年もよろしくお願いたします。新しい年を迎え、また名取町政も2年目となり、会員相互心新たに励んでいきたいと思うこの頃です。

昨年は、夏の猛暑や秋の台風による豪雨災害、合わせて倒木による長時間の停電など、富士見町においても類を見ない自然災害に見舞われた年でもありました。近年、こうした異常気象による自然災害は、全国各地で絶えず発生し、生活を脅かしているのが実情です。

私たちの願いは、生活の安心と安全な環境の下で、日々の生活を営むことです。昨年の消防団の活躍は、こうした願いの下、大きな支えとなってくれることと期待するものであります。

穏やかな新年を迎え、今年一年が充実した年となるよう願いながら、名取しげはる町政の政策の後押しと、時には注文を交えつつ、闊達な後援会活動ができますようお願いしてあいさつとさせていただきます。



▲「信」町民の力・地域の力・職員の力を信じて。

“もっと住み良い住み続けたい町へ”



2019年 富士見町成人式

新しい年号を迎える本年、153名が新たな時代に向け成人を迎えました。



カゴメ
野菜生活ファーム
富士見起工式

19年春の開業に向けて、体験型野菜テーマパークの建設が進む中、収穫体験などができるトマトハウスが姿を現しスケールの大きさに圧倒されます。全国的にも注目の施設は町内への来客増加へ向け、大きな期待を寄せています。



起工式でのあいさつ



完成イメージ



完成間近のトマトのハウス。奥に見える建設中の建物が、レストランや体験施設を兼ね備えたカゴメ野菜生活ファームです。



新春出初め式

災害に強い安心安全な町づくりを目指して。新春に相応しい梯子乗りも披露されました。



銀座NAGANO就職相談会

県外からのU・Iターン希望者に富士見の魅力をプレゼン。



「ゆめひろば富士見」オープン

町民が集う場所としてオープンした多目的交流広場のテープカット。



ゆめひろばで富士見マルシェ

町内の農業法人4社と地産池消を進める直売イベントを初開催。



総合防災訓練

大規模災害を想定して「安否確認」および「災害状況確認」。



八ヶ岳災害現地確認

大きな爪痕を残す自然の猛威に対し、防災の重要性を再認識しました。



高原の縄文王国収穫祭

縄文時代の生活や文化を体験する収穫イベントを井戸尻遺跡で開催しました。



住民懇談会

町政に対する貴重な意見交換の場として定期開催しています。

